

CASBEE® 広島

■使用評価マニュアル：CASBEE 広島 2016年版

|使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

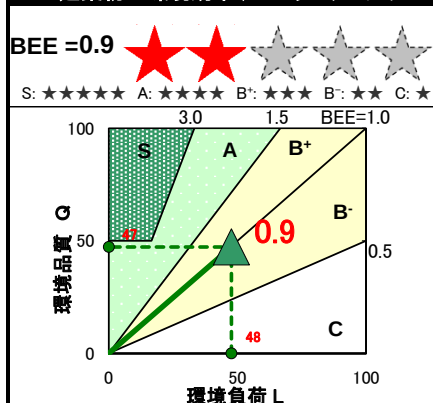
■ 評価結果 ■

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)アパホテル&リゾート(広島駅)	階数	地上32階
建設地	広島県広島市南区松原町 679-11	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,000 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年1月 予定	評価の実施日	2024年5月2日
敷地面積	1,270 m ²	作成者	日企設計
建築面積	455 m ²	確認日	2024年5月2日
延床面積	12,896 m ²	確認者	

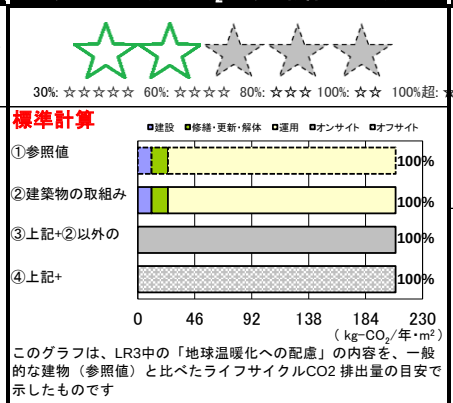


ださい

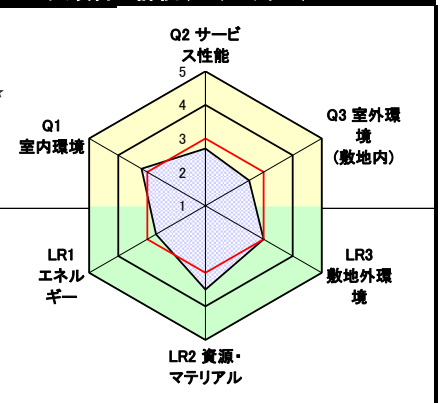
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

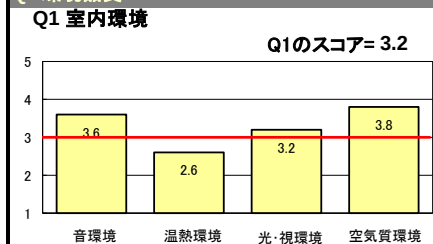


2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

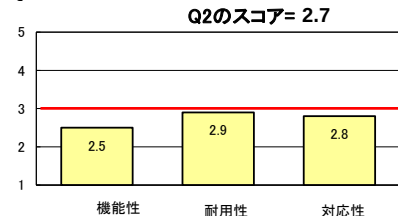


2-4 中項目の評価(バーチャート)

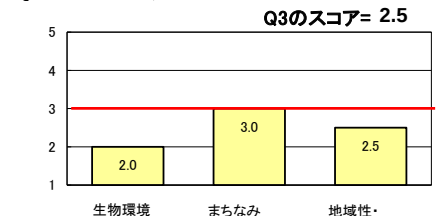
Q 環境品質



Q2 サービス性能

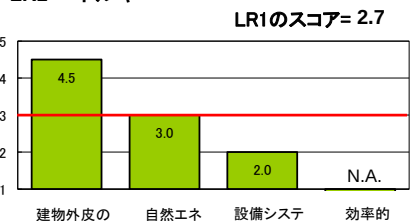


Q3 室外環境（敷地内）

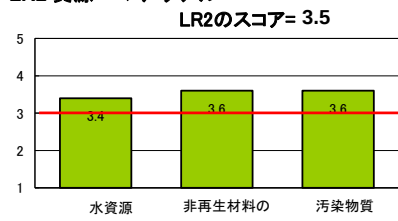


LR 環境負荷低減性

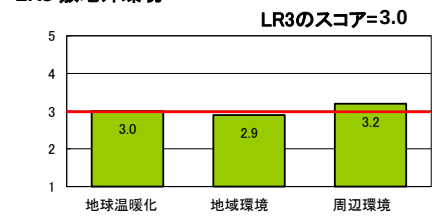
LR1 エネルギー



LR2 資源・マテリアル



LR3 敷地外環境



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア＝ 3.0

「地球温暖化対策」の推進 スコア＝ 3.0 設計の計画上特段に配慮した事項 BPIm : 0.85 / / / / ノンフロン断熱材の採用 / 可能な限りCO2の排出量を低減	「ヒートアイランド対策」の推進 スコア＝ 2.6 設計の計画上特段に配慮した事項 / 適切な駐車台数の確保	「長寿命化対策」の推進 スコア＝ 3.1 設計の計画上特段に配慮した事項 空調・給排水管の期待耐用年数40年以上を採用 / ケーブルラック方式とし修繕・更新しやすい設計としている
---	---	---

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される